



「野呂の不滅…を称え、恒久平和を希求することが私たちの責務」(夕張市議会議長)などのメッセージが寄せられた
2月19日午後・野呂栄太郎没後87周年碑前祭（長沼町）



2月19日午前・野呂栄太郎墓前祭（札幌市・平岸靈園）



(561号付録)
北海道版 №.459

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
北海道本部

編集発行人 宮田 汎
〒065-0018 札幌市東区北18条
東15丁目3-6ブランノワールF101号
電話 011 (374) 8280
FAX 011 (374) 8281
郵便振替・02740-7-24209

「野呂氏の犠牲で築いた平和と豊かさを忘れない」
空知各自治体等関係者からメッセージ多数

野呂栄太郎没後87年墓碑前祭

科学的・社会主義の立場で『日本資本主義発達史講座』を多くの学者と共に編集し、「大陸侵略は世界大戦を導く。統一して反戦を」と訴えた研究者であり、日本共産党の指導者だった野呂栄太郎没後87周年の碑前祭と墓前祭が2月19日、長沼、札幌で行われました。

長沼教育長・間嶋氏ら5氏挨拶

【長沼】野呂碑記念小公園で行なわれた碑前祭には、南空知一円、札幌、江別、苫小牧などから40人が参加し、弾圧に屈せず闘い、日本本の針路を明らかにした野呂栄太郎の碑前に黙祷しました。

各界の挨拶では、間嶋勉・長沼町教育長が「野呂さんは、不自由な身体に負けず勉学に励み、優れた研究業績を残しました。私たちが享受している平和と豊かさは野呂さんの尊い犠牲と労苦の上に築かれています。このことを忘れてはなりません」と語りました。

はたやま和也・日本共産党元衆議院議員は「野呂栄太郎について生前会員でした。

渡邊利右衛門の「名譽回復」

調査・掲載を喜び縁者入会

渡邊利右衛門は、戦前、小樽労働運動の中心的活動家として武内清とともに活動し、日本共産党北海道地方委員会や小樽地区委員会結成に大きな役割を果たした人であります。小樽労働者大会では、政府に対し治安維持法などの撤廃決議案を作成・説明するなどの役割を担当しました。しかし3・15大弾圧で三田村四郎らとともに権力に屈したとの誤った評価がありました。今回「不届」小樽後志版1、

目標を持つて取り組んで成果

署名、会員拡大、千代子上映権

渡邊利右衛門の「名譽回復」

「碑前祭迄署名50%」を達成

【南空知】野呂碑前祭までに個人署名50%達成をと頑張ってきました。19日、目標1500の780筆に到達、52%になりました。

企業組合役員の内野さん入会

【苫小牧】2月22日、支部事務局員の齊藤由子さんが、内野勇さんに訴えて、快く入会していただきました。内野さんは企業組合の役員をされています。支部は、あと1名増やして130人にしようとしています。

科学的・社会主義の立場で『日本資本主義発達史講座』を多くの学者と共に編集し、「大陸侵略は世界大戦を導く。統一して反戦を」と訴えた研究者であり、日本共産党の指導者だった野呂栄太郎没後87周年の碑前祭と墓前祭が2月19日、長沼、札幌で行われました。

【長沼】野呂碑記念小公園で行なわれた碑前祭には、南空知一円、札幌、江別、苫小牧などから40人が参加し、弾圧に屈せず闘い、日本本の針路を明らかにした野呂栄太郎の碑前に黙祷しました。

各界の挨拶では、間嶋勉・長沼町教育長が「野呂さんは、不自由な身体に負けず勉学に励み、優れた研究業績を残しました。私たちが享受している平和と豊かさは野呂さんの尊い犠牲と労苦の上に築かれています。このことを忘れてはなりません」と語りました。

はたやま和也・日本共産党元衆議院議員は「野呂栄太郎について生前会員でした。

渡邊利右衛門の「名譽回復」

調査・掲載を喜び縁者入会

渡邊利右衛門は、戦前、小樽労働運動の中心的活動家として武内清とともに活動し、日本共産党北海道地方委員会や小樽地区委員会結成に大きな役割を果たした人であります。小樽労働者大会では、政府に対し治安維持法などの撤廃決議案を作成・説明するなどの役割を担当しました。しかし3・15大弾圧で三田村四郎らとともに権力に屈したとの誤った評価がありました。今回「不届」小樽後志版1、

犠牲者調査・「不届」掲載の取り組みの中での会員拡大の新しい経験

小樽支部

原稿依頼の中で女性入会

小樽支部は、地域の犠牲者調査を継続して行い「不届」小樽後志版1月号から毎号、その紹介を始めました。この取組みが会員拡大につながっています。3月号では、関賢藏を掲載しますが、関さんと親交のある元新婦人小樽支部長の田村洋子さんに、原稿依頼の中で入会を訴え、会員になつてもらいました。田村さんのお父さんも生前会員でした。

【南空知】野呂碑前祭までに個人署名50%達成をと頑張ってきました。19日、目標1500の780筆に到達、52%になりました。

【札幌】東区と北区でこのほど、

2月22日、支部事務局員の齊藤由子さんが、内野勇さんに訴えて、快く入会していただきました。内野さんは企業組合の役員をされています。支部は、あと1名増やして130人にしようとしています。

【伊藤千代子の生涯】上映権各1口を達成しました。札幌市内の実行委員会では初の上映権です。北海道全体では30口目前になりました。

【宮澤弘幸の豊かな人間像】命日の集いで明らかに

太平洋戦争開始の日に「軍機保護法」で弾圧された宮澤弘幸さんの、74年の命日になる2月22日、北大学術交流会館で「宮澤・レーナン事件を考える集い」が開かれました。一部は、昨年亡くなられた弘幸さんの妹・秋間美江子さん追

かれた状況も明らかになりました。1964年、渡邊が甲府病院で亡くなつたとき、戦前ともに聞つた村上由（当時、日本共产党党中央統制監査委員）

らが病院を訪れたと言わ

れていました。こうした渡

邊利右衛門についての調

査と紹介を渡邊の甥の小

泉豊・香理子夫妻は大変喜ばれ、香理子さんが入

会されました。

【伊藤千代子の生涯】上映権各1口を達成しました。札幌市内の実行委員会では初の上映権です。北海道全体では30口目前になりました。

【宮澤弘幸の豊かな人間像】命日の集いで明らかに

悼の会が行われました。第二部では、「北大生宮澤弘幸の青春」と題して、弘幸さんが生前編集し、

秋間さんが北大に寄贈したアルバムをパワーポイントで紹介。中原豊司、河道前伸子、北明邦雄各氏が、弘幸さんの、広い関心を持ち研究熱心な豊かな人柄を読み解き、参加者に深い感動を与えまし

北海中学同期生の真鍋真次郎さんが「野呂は、利口で温かいという尊敬すべき人だった。資本主義が発達したことのおこりがヒューマニズムということに欠けていること」と話していました。いま、コロナ禍の中で人間らしさを持つて生きることが求められています」と述べ、国民の苦難に背く冷酷な菅政権に代わって市民と野党の共闘で政権交代を果たしました。すると強調しました。

宮田汎・同盟道本部会長は「野呂栄太郎は1926年の京都学連事件で検挙されました。北海道で一番最初の治安維持法弾圧を受けた人です。野呂らを取り調べた東京地檢の池田克らが、思想弾圧のテクニックを学び、翌年の名寄、旭川の集產党事件をでっち上げ、3・15弾圧へと広げていったことを忘れるわけにはいきません。また、野呂が獄死した2月19日、5年前の野呂の命日に、全国で初めて

美子さんは「ここに来ると、本当に野呂に会える気がする」と話していました。また、この野呂碑を訪れた塩澤富士男は「西田信春・甦る死」を長沼町で執筆した故上杉朋史氏の妻キミ子さんは「甦る死」は皆さんのおかげで2千冊も普及できました。更に読んで頂くと有難いです」と挨拶しました。

【札幌】午前に行われた平岸靈園の墓前祭には若い参加者も目立つて18人が参加、主催者の日本共

産党北海道委員会のはたやま和也前衆議院議員、同盟道本部の宮田汎会長、日本国民救援会道本部の地元を代表して、薮田享・同盟南

空知支部長は「この長沼には北海道で一番早く農民組合が出来ました。この農民の闘いを見て野呂は育ち、資本主義の研究の中でも農

民問題に強く関心を持ちました。

宮田汎・同盟道本部会長は「野呂栄太郎は1926年の京都学連事件で検挙されました。北海道で一番最初の治安維持法弾圧を受けた人です。野呂らを取り調べた東京地檢の池田克らが、思想弾圧のテクニックを学び、翌年の名寄、旭川の集產党事件をでっち上げ、3・15弾圧へと広げていったことを忘れるわけにはいきません。また、野呂が獄死した2月19日、5年前の野呂の命日に、全国で初めて

北の群像



小樽労働運動の先駆者 治安維持法と闘つた 渡邊利右衛門

(続き)

ストライキ史上の一大エポック

武内清、渡邊利右衛門らの指導による1927年の小樽港湾争議は「公務負傷は親方負担とする」などを勝ち取ったものの、勝利とは言えない部分がありました。

しかし、「小樽におけるこのゼネラル・ストライキは、わが国におけるストライキ史上に一大エポックをもたらしたものであって、今日といえどもなお幾多の輝ける教訓を与えているものである」(谷口善太郎『日本労働組合評議会史』)と評価されています。

「武内(争議部長)を重石型とすれば渡辺(組織部長)は豹の型であった。このコンビは小樽合同(労組)の全盛期を産み、日本最初の港湾ゼネストの成功のテコとなつた。」(風間六三「再会まで」『北方文芸』1978年1月号)

利右衛門は、1925年農民勞

働党創立大会に出席し、その後小樽支部結成に参加。27年12月、武内清の推薦で日本共産党に入党。

小樽地区委員会及び北海道地方委員会の組織化に努めたと言われています。

28年3月15日の一斉検挙で逮捕され、武内清とともに最高刑の懲役6年の判決(実刑)を受けました。利右衛門29歳でした。多喜二の代表作「一九二八年三月二十五日」に出てくる「渡」は利右衛門がモデルとされています。

当時、「無産者新聞」小樽支局の責任者であった風間六三は、3・15弾圧救援に奔走していましたが、「再会まで」の「渡辺利右衛門とその雑想録」のなかで利右衛門との出会い(1928・2)から再会までの記録を残しています。

「初志貫徹、後暗い事も感ぜず」利右衛門に関わる大事な部分の

みを紹介します。武内と渡邊のコンビが「港湾ゼネスト成功のテコとなつた」と証言し、利右衛門の名が長つたらしいので「リン」と呼んでいたこと。渡邊の死後13年、遺児・正隆から遺稿ノート(1976年)を借り受け兄佐四郎へコピーを送ったなど…。

注目すべきことは、「私は無産運動、組合運動から遂に共産党活動に入り、三・一五事件で八年の獄中生活、そして獄中では再三再四転向を進(ママ)められたが、遂に初志を貫徹し、一日の恩典もなく、誰彼に後暗い事も感ぜずに来た」(1937年2月7日)と記述されていることです。

風間が「渡辺は如上の一文でははつきりと非転向といい切つてゐることから言えば、これまで渡邊の経歴として記述されてきたものとは全く異なるものです。風間は、「村上由、広谷俊二が渡辺の死去後遺児正隆の知らせで病院を訪れたというが詳かでない」とも述べています。

ひとつは1936(昭和11)年9月に北海道特高課が作成した

『特高関係要警戒人物一覧簿』です。「渡邊利右衛門」は「特共乙」ランクで「隨時尾行」の対象でした。「特」とは特別要警戒人物で、共産主義者乙ランクのことです。

また、中国に渡つても監視対象とされていたことが、内務省警保局外事課『外事月報』昭和14(1939)年9月分で判明しました。当時、中国共産党の対日宣伝工作と、満州など中国に渡つた「左翼傾向分子」と結びつくことを警戒、監視していた人物の一人として「小樽市石山町六 北京鴨下製作所出張所 會社員 渡邊利右衛門」と記されています。権力者の正体を見ることがあります。

(「不届」小樽後志版2月号より。

写真は「小樽新聞」夕刊、昭和3年9月18日付による。当時25歳)